

まちかどフォトニュース

おもしろいこと、珍しいもの、どんなことでもいいので耳よりな情報をお知らせください。
三好市 秘書広報課 ☎ 72-7646



うだつマルシェで町歩きを楽しもう

第5回うだつマルシェが8月26日、うだつの町並みが残る池田町本町通り周辺で開催されました。ゆっくり町歩きを楽しんでもらおうと池田町の中心街にも会場を広げた今回は、市内外から約40店舗が出店し、食品や雑貨などさまざまな商品が販売されました。へそっこ公園では、ミニSL列車の乗車や鉄道クイズ、まちかど資料館では、ことば作家の企画展「たわむれ言葉」などの催しもあり、本町通り周辺は終日たくさんの家族連れらでにぎわいました。

武道必修化に向け 教員に柔道講習

中学校で武道が必修化されたことに伴い、三好郡市学校保健連合会による研修会が8月20日、池田総合体育館で開催されました。柔道の指導力向上を目指したこの研修会では、阿波中学校教諭の八木保臣先生から「柔道を安全に行うために」、県立中央病院救急救命センター三村誠二先生からは「スポーツにおける外傷・緊急時の処置について」を演題に講演が行われ、参加した教師らは指導の重点や緊急時の対応などについて熱心に耳を傾けていました。



野菜と仲良く 親子で楽しむ食育教室

料理を作る楽しさを通じて、家族の絆を深めてもらおうと、三好市保健センターで8月20日、「おやこ食育教室」が開かれました。参加した小学生の親子らは、栄養士によるクイズで野菜に関する知識を深めた後、ヘルスメイト三好のメンバーから調理の指導を受けながら、タコライスやブロッコリーとカボチャのサラダなど彩りや栄養バランスが考えられたメニュー4品を作りました。子どもたちは慣れない手つきながらも包丁を使って野菜を切ったり、盛りつけに挑戦し、出来上がった料理をおいしく味わいました。

「樹恩割り箸」の取り組み開始から15年

阪神淡路大震災で三好地域の林業関係者が被災した学生に仮設住宅を支援したことをきっかけに、全国大学生協同組合連合会との交流がはじまり、林業と福祉の連携による「間伐材を使用した割り箸（樹恩割り箸）製造」に発展していきました。その活動が15年目を迎え、8月4日にレストハウスウエノで記念式典が行われました。式典では、事業に功績のあった方への感謝状の贈呈や記念講演、パネルディスカッションなどが行われ、これまでの歩みを振り返り活動の原点を再確認しました。



井川中学校が国際交流



韓国青少年連盟（南ソウル連盟）旅行団の中学生31人が、教育旅行の一環として三好市内などで民泊し、8月7日には、井川中学校を訪れました。歓迎セレモニーの後には、各学年に分かれて、阿波おどりや流しそうめん・めんこなどの夏祭り体験、音楽や折り紙などで交流会を楽しみました。それぞれの体験を通じて中学生らは互いに交流を深め、笑顔あふれる貴重な国際交流体験となったようです。

妖怪屋敷で夏まつり



8月4日、道の駅大歩危で、妖怪夏まつりが開催され、観光客や家族連れらで賑わいました。真っ暗な中を進んでいく肝試し大会は行列ができるほど大盛況で、怖くて泣き出す子どもたちもいました。また、夜の妖怪屋敷を語り部が案内するナイトミュージアムも好評で、参加者は山城町に眠る妖怪伝説に熱心に耳を傾けたり、妖怪たちとの記念撮影や妖怪の衣装を着てみたりと、暑い夏の夜を妖怪たちとひんやり過ごしました。

西祖谷で夏満喫



西祖谷夏祭りが8月4日に開催され、地元住民や観光客ら約500人がアユのつかみどりや豪華景品があたる抽選会、バザーやよびごと連による阿波おどりなどを楽しみました。アユのつかみどりでは、子どもたちは全身びしょびしょになりながら、逃げ回るアユを一生懸命追いかけ、歓声を上げていました。最後には花火も打ち上げられ、西祖谷の夜空が色とりどりの花火で彩られました。



水に親しみ 水泳競技を楽しもう

水に親しみ楽しみながら競技力の向上を図ろうと、8月5日、池田中学校プールで第2回みよし水泳フェスティバルが開催されました。小学生から大人まで35人の選手が参加し、自由形や平泳ぎ・背泳ぎなどのタイムレースや、潜水競争や水球の試合が行われました。今年は、今後の励みにしてほしいと大会記録更新をした人にメダルが贈呈されました。選手らは、記録更新を目指しながら、水に親しみ競技を楽しんでいました。